

月25日(水)今晚夜7時

戎市民館にて

みんなで作ろう

みんなのかいかん

お盆には 1万円にぎって

三角公園へ

夜間学校

釜ヶ崎夜間学校

西成区萩の茶屋スー2

釜ヶ崎解放会館・階

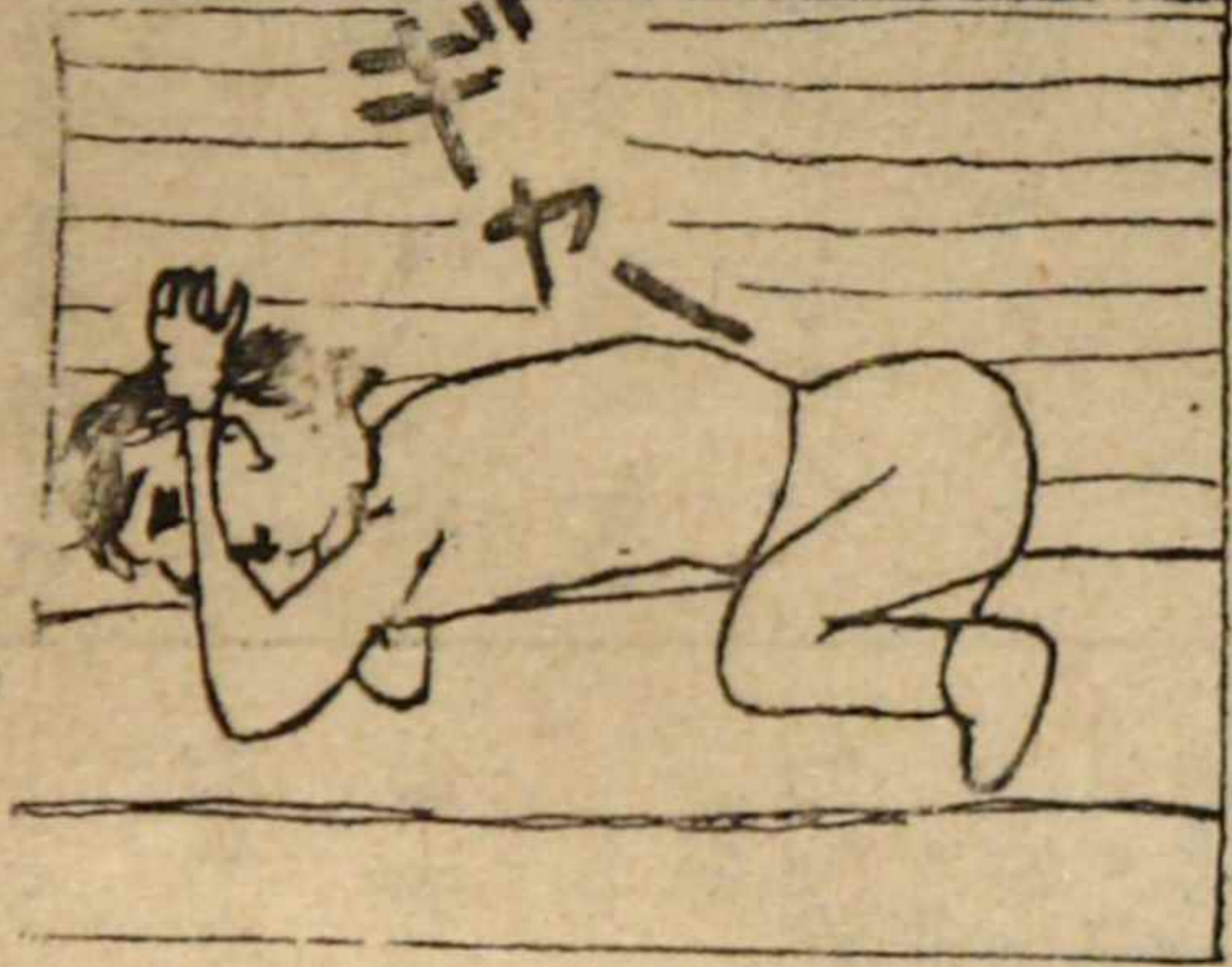
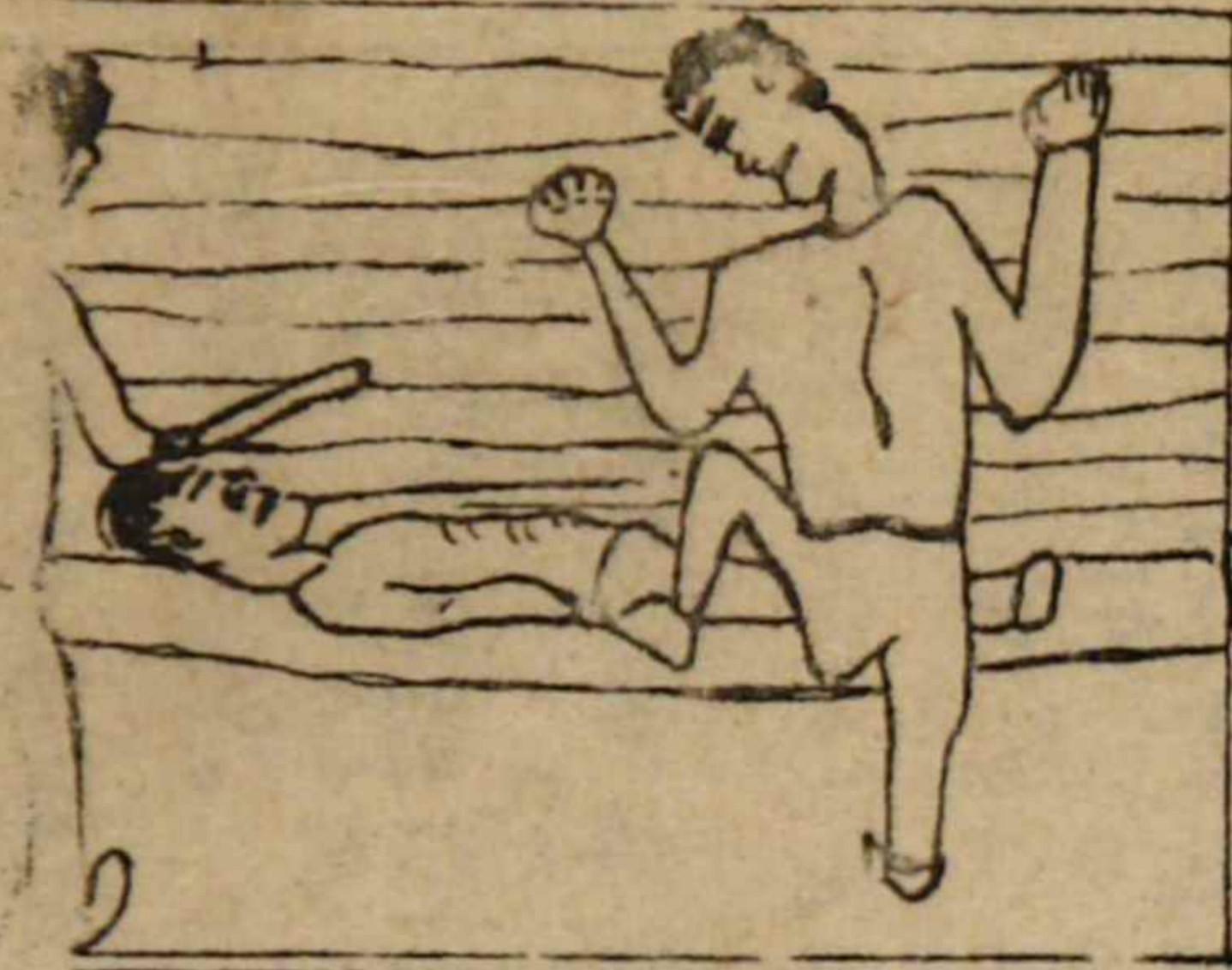
釜日労争議団 気付

米山の一角白日のもとに ―青カンの仲間・少年らに襲われる―

五月二一日の新聞・夕刊
ゼテレビのニュースなどで
知っている仲間も多いと思
うが、今まで我々の間では
よく知られていた、青カン
として仲間達への襲撃事
件が白日のもとにさらされ

た。

当日の夜、現場へ行った
ところ、目撃者の話を聞く
ことができた。
外で人を殴るような音
と、タスケテクレーンとい
うような声が聞こえたので、



窓の外を見ると、少年達が
青カンしている人を殴って
いるよりだったので、コッ
―とどなると、バラバラと
道路を渡って逃げた。様子
を見に行くと、一人の人が
血だらけになっていた。
話を聞くと、一人は水道
で水を飲んでいるところを
後から殴られ、もう一人は
寝ているところをメッタク打
ちされたという。
現場には一メートルくら
いの角材や、バットの折れ
た握りの部分などが落ちて

いた。

去年にも、まったく同
い場所で、同じ様に襲わ
れている。

南署の青カン者に対す
る写真撮影、指紋採取の
強制、富永病院の患者放
り出し殺人、そして、今
回の襲撃事件。

仕事なく、貧しく、地
位もない我々をとりまく
状況はかくも厳しい。

今回は、釜ヶ崎日雇労
働組合・争議団と合同で
集会をおこなう夜間学校

いつもと一味ちがう？
仕事が出るまでは、た
だひたすら頭を低くして
生きるのみ……か。

我々に襲いかかるもの
はなにか、それを打破す

日雇い労働者差別事件

この憤怒を

5/20 夜間学校報告

二としての一月から二月にかけて野宿していた日雇い労働者が少年たちに襲われ、三人が殺されるという事件が横浜でおこった。天王寺や難波、梅田周辺でも少年らによる暴行がおこなわれ、いたことが全日弟の調査でわかっている。そして今一度は南署が難波周辺で「五月かんし」を強いられている労働者に対して、氏名年齢、本籍などを聞いてカードに記入したうえ、指紋をとリ、氏名と生年月日、ナンバーなどを書いた紙を持たせて上半身の写真を撮っていたことがあきらかになった。また、浪速区にある富永病院では先月、病院にまた労働者を、救急車でまきこいたという理由で病院がう百五十メートル

者を死なせるといふ事件をおこしている。前回の夜間学校では、これら一連の事件について、なぜ二のようになんかおこるのか、どうすれば防ぐことができるのかを考へた。

「五月かんし」セザるをえないう労働者を、協同警察はまるが、在車立連の車を火をつけて

まず、新聞などでは「浮浪者」ということばを使っているが、この「浮浪者」とは誰のことかが問題になった。「五月かんし」したことがある参加者が、「誰も好きこのんぐ五月かんしようとは思われない。仕事がないからしかたなくミナミに行つて食いつなぐしかないのだ」といふ発言があつた。そして、この事件があつてもやむなく

「五月かんし」セザるをえないう労働者を、協同警察はまるが、在車立連の車を火をつけて

「五月かんし」セザるをえないう労働者を、協同警察はまるが、在車立連の車を火をつけて

「週間新潮」という雑誌は「午前一時に歩道で寝ている人間に、どんな権利がある」というのだとわめいている。これは日雇い労働者を人間とはみなさない考へ方を表わしている。そして、南署や富永病院のやり方の背後にも二の差別にどう立ち向かへるか。さないうちの考へ方がある。

「無料宿はく所」をなくする。抗議集会をひらく。「顔づけをなくしてみんなが仕事にけるようにする。」という提案がなされた。ひきつづいて、この問題を考へてゆくことが確認された。

「五月かんし」セザるをえないう労働者を、協同警察はまるが、在車立連の車を火をつけて